

編 集 後 記

『放送大学研究年報』第19号をお届けします。本号には、8篇の論文が寄せられました。例年に比べて論文の数がやや少ない感じもしますし、専門分野別にも多少かたよりがあるように思います。しかし、今回は渡邊二郎教授がご退任をかざるにふさわしい力作をお寄せ下さいましたので、本号が他の号に比べて見劣りするということはありません。

振り返ってみますと、2001年という年には本当にいろいろなことがありました。9月11日の同時多発テロは、世界のあり方を変えるほどの大きな衝撃を与えました。わが放送大学も、一方では大学院を開設して新時代に備えるとともに、他方では特殊法人改革の流れの中で学校法人化という試練に直面しようとしています。しかし、世界のあり方がどう変わろうと、あるいは放送大学の組織形態がどう変わろうと、大学人の使命が教育と研究の道を着実に歩むことであるのは変わりません。教育と研究の成果を発表する媒体は多様です。『放送大学研究年報』もそうした媒体の一つとして大きな役割を果たしてきました。大学院が発足した後、この年報はどうあるべきなのか、改めて考えていく必要があります。皆様からも新鮮な意見が寄せられることを期待しております。

2002年2月

放送大学研究年報編集委員会

委員長 阿 部 齊
委 員 今井悦子・岡崎友典・六本佳平
河合明宣・高木昭作・堂寺知成

放送大学研究年報 第19号 平成13年

平成14年3月26日 印刷

平成14年3月31日 発行

編集兼発行者 放 送 大 学

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地

電話 043-276-5111 (代表)

印 刷 者 高 山 印 刷 株 式 会 社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-11-5 (佐川ビル)
